

Forest

森林組合だより

令和3年9月1日
発行
第 135 号



令和3年度 各地区連絡員会議

本荘由利森林組合

由利本荘市水林381

TEL 0184-24-4141(代) FAX 0184-24-4143

HP <http://www.honmori.com/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp

令和3年度 連絡員会議を開催しました

昨年度は新型コロナウイルスの影響により開催中止を余儀なくされた連絡員会議でしたが、今年度は感染リスク低減のため地区ごとで7月5日～19日の間に開催し、連絡員の皆様にご説明いたしました。

各地区での会議の様子やご質問について以下に掲載いたします。

岩城地区



- Q** 【上新谷連絡員 今野 光雄氏】
木材価格が上昇しているものの、業者が不足しているという話を聞きますが、森林組合はどうでしょうか。
- A**
現在は、協力事業体と直営班で事業を展開しています。今の景気がいつまで続くのか見通しができない状態ですが、極力動けるよう努力いたします。
- Q** 【二古連絡員 田口 修一氏】
バイオマス事業の過去の実績との比較はどのようになっていますか。
- A**
令和元年度は約1万2千tで、令和2年度は約1万7千5百tと前年度を大きく上回る量を出荷できています。
- Q** 【高畑連絡員 伊藤 尚武氏】
森林経営管理制度では全ての山が対象になるのでしょうか。
- A** 【県からの回答】
経営の成り立たない山を対象として、森林環境譲与税を使って整備するという制度です。
- Q** 【上黒川連絡員 土田 信夫氏】
自治会で山林を所有しているのですが、境界がわからない状態です。森林組合で調査して境界を確認できますか。
- A**
明確に境界を示すことはできませんが、事業を依頼された区域の測量は可能です。図面もあれば大まかな場所の特定もできると思います。

仁賀保地区



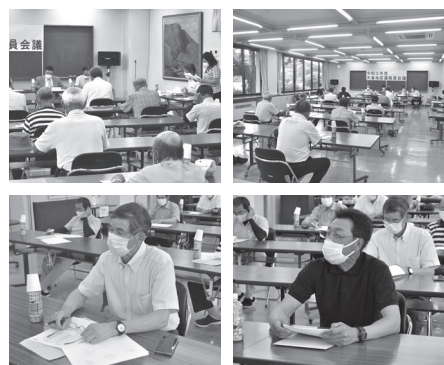
- Q** 【小国連絡員 佐藤 誠氏】
組合の配布物を他の機関の配布物に合わせてほしい。
- A**
期限付きの配布物もあるため、それを考慮して検討いたします。
- Q** 【大砂川連絡員 須藤 辰義氏】
共販で落札された木は全て山形県に流れているのでしょうか。
- A**
地理的に近いため山形県の業者が多く入札に参加していますが、秋田県内の業者も参加していますし、販売もしています。
- Q** 【上小国連絡員 佐藤 佳一氏】
当地区には保安林区域があるのですが、最近では災害も多いので行政と連携して防止対策としての施業を進めてほしい。
- A**
保安林でも手続きを行えば施業は可能ですので、一度支所にご相談ください。
- Q** 【琴浦連絡員 石塚 金一氏】
森林環境譲与税の使い道を教えてください。
- A** 【県からの回答】
脱炭素社会の実現や近年頻発している災害対策としての森林整備等を目的に使用される予定です。

東由利地区



- Q** 【田代連絡員 渡辺 幹夫氏】
山林の作業道整備をもっと進めてほしい。
- A** 【市からの回答】
県と相談し、可能なものそうでないものを検討しています。
- Q** 【黒沢連絡員 木島 忠一氏】
東北電力の鉄塔・送電線工事が動き始めたと聞きましたが、森林組合と関連はありますか。
- A**
秋田県森林組合連合会から依頼を受け、当組合で調査及び施業予定です。
- Q** 【八日町連絡員 安倍 秋雄氏】
バイオマス事業が順調のようにですが、機械の修理・更新についてはどう考えていますか。
- A**
県の補助金は修理は対象外ですが、事業拡大であれば予算が付くとのことなので、検討中です。

矢島地区



- Q** 【郷内連絡員 豊島 靖喜氏】
ウッドショックが話題になっていますが、いつまで続く見通しですか。
- A** 【県からの回答】
秋田県では、6月をピークに12月にかけて新築の着工がなくなるため、12月までが一旦の目安になるかと思っています。
- Q** 【持子連絡員 藤原 和信氏】
集落内で間伐をしなければならぬ山林があるのですが、搬出困難な場所が多いので、組合と県で連携して間伐を推進する施策を展開してほしい。
- A**
経営計画と予算、作業班の3つが揃わないと間伐は進めづらいため現状がありますが、要望に応えられるようにいたします。
- Q** 【県からの回答】
県としても再造林を推し進めています。間伐の予算が削られている事情もあるので、国への要望もしていきたいと思っております。

大内地区



【中館連絡員 堀 隆一氏】

Q 皆伐後の再造林推進をお願いします。

【県からの回答】

A 現在、全県の再造林率は約30%で、それと比較すると由利管内は高い造林率ですが、県としてもさらなる推進を推し量りたいと思っています。

【見岫連絡員 佐々木 剛氏】

Q ナラ枯れ被害を上川地区でも目にしますが、対応や対策方法がありますか部分的に対策を行っている箇所はありますが、一部に留まっている状況です。更新伐等による伐採事業の活用で、被害箇所の新規更新を図ることが望ましいと考えます。

【代内連絡員 佐々木 茂見氏】

Q 戦後、杉を過剰に植林した為、山のバランスが崩れていると感じます。皆伐後の再造林を計画的に抑制してはどうでしょうか。

A 適地適木の理念から、杉を伐つたら杉を植えるということを基本理念とし、山林災害防止の面から考慮しても保水保湿効果の高い再造林は必要と考えます。

鳥海地区

【大坂連絡員 藤原 茂氏】

Q 「ラミナ」とはなんですか。

A 集成材の材料のことです。原木の曲がり材、劣材から生産しています。

Q 製品等の売上よりもバイオマスの売上の方が拡大しているのはなぜですか。

A 今まで廃棄されていた林地残材がバイオマスチップとして高値で取引されているためです。

【市から森林環境譲与税について解説】

● 由利本荘市では、平成31年から交付されており、令和6年には2億円交付される予定です。助成内容としては搬出間伐の場合は1㎡当り600円助成され、林道整備では1路線当り100万円を上限に助成されます。沢を横断しないと素材を搬出できない地形である場合は横断溝設置作業として180万円を上限として助成されます。草刈り作業は助成対象になりません。今後のアンケート調査の結果次第では、林家が持ち出ししないで保育間伐ができる場合もあります。由利本荘市では地域の限定ではなく申請ごとに助成対象としています。



本荘地区



【柴野連絡員 三浦 功氏】

Q 本荘地区での補助事業の割合はどれくらいか。また、近年大雨の被害が多いが、組合で災害対策の予算はないのか。

A 本荘地区の補助事業は、面積でいうと全体の7%ほどの事業展開をしています。また、当組合では災害対策についての予算はありませんが、関係機関に相談はしています。

【湯沢連絡員 小松 克弘氏】

Q 5、10年後の木材価格の見通しはどうなっていくと思われれますか。

【県からの回答】

A 木材の約7割は住宅に使用されるのですが、秋田県では住宅着工件数が減少すると言われているものの現状は横ばい状態です。木材価格は上昇していくと思いますが、同時に労働力の減少が目立っていますので、情報が入り次第、森林組合にもお伝えいたします。

【畑谷連絡員 田口 松雄氏】

Q 森林環境譲与税に組合はどう関わっているのでしょうか。

A 当組合では現在、その事業の中で森林所有者へのアンケート調査及び意向調査の委託を受けて実施しています。

由利地区

【蒲田連絡員 木内 正氏】

Q 製材品の生産量について詳しく教えてください。

A 角類が全体の約12%、板類が約14%、小割類が約30%、ラミナが約44%となっています。ラミナは集成材の製造会社に納品しています。

【沢口連絡員 木内 恵一氏】

Q 今後を見据えた林業計画を立てて秋田杉を活用していくべきだと思っておりますが、県としてはどのように秋田杉を育成、生産していく予定でしょうか。

【県からの回答】

A 戦後の拡大造林によって植林された杉が成熟期を迎えています。ウツドシヨククの影響もあり、今後益々原木の獲得・価格競争が激しくなると思われれます。しかし、再造林率が秋田県全体の平均が約30%、由利管内では約35%と、再造林がなかなか進まないという問題も抱えており、このままでは将来の循環資源に不安がありますので、県としては重点施策として再造林に力を入れているところです。



第27回造林コンクールを開催いたしますので、多数の応募をお待ちしております。
開催要領は下記のとおりです。

第27回 本荘由利森林組合造林コンクール開催要領

1. 趣 旨

この造林コンクールは、健全な活力ある優良林分を造成し、良質材生産を志向した保育作業の合理化と技術の向上を図り、由利地方民有林の森林整備事業の推進と実績を高めるために開催し、合わせて所得向上に貢献することを目的とする。

2. 名 称 本荘由利森林組合造林コンクール

3. 主 催 本荘由利森林組合

4. 実施期間 申込：令和3年9月2日～令和3年10月11日
審査：令和3年11月2日～令和3年11月20日

5. 実施方法

① 参加資格

本荘由利森林組合組合員とする。(旧由利地方森林組合及び本荘由利森林組合主催の造林コンクールで入賞した林分は同一部門での申し込みはできません。)

② 参加林分の基準

※令和2年～令和3年度中に施業を実施した林分に限る。

A 人工林

B 育成天然林

(イ) 樹 種……スギ

(イ) 樹 種……広葉樹

(ロ) 面 積……0.10ha以上

(ロ) 面 積……0.10ha以上

(ハ) 林 齢……植栽後7年生以上

(ハ) 林 齢……25年生以上

③ 参加部門

幼齢林の部……7年生～9年生

枝打ちの部……11年生～30年生

保育間伐の部……21年生以上

収穫間伐の部……21年生以上

育成天然林の部……25年生以上

④ 参加申込

各支所に備え付けの参加申込用紙に記入の上、各支所経由で申込むものとする。

⑤ 審査方法

審査委員長は、由利地域振興局農林部森づくり推進課長に依頼し、森づくり推進委員及び森林組合職員をもって審査するものとする。

⑥ 審査基準 別に定める。

⑦ 表 彰

組合長は、審査委員長からの審査結果報告に基づき入賞者を決定し、次により表彰するものとする。

- ・最優秀賞 (由利地域振興局長賞)
- ・優秀賞 (由利森林管理署長賞)
- ・優良賞 (県森連会長賞)
- ・入賞 (森林組合長賞)
- ・奨励賞 (森林組合長賞)

ゆり支援学校 現場実習



6月7日～18日の10日間、ゆり支援学校の生徒が現場実習で当組合製材工場を訪れました。実習中は、製材品のカット作業や工場内の清掃作業を行っていただき、その後届いた御礼状には、

- ・実習前は不安だったが、職員の方々が優しく話しかけてくれて安心して作業ができた。
- ・「作業が早いし上手」と褒めてもらいモチベーションも上がった。
- ・今回の実習で集中力が以前より持続するようになった。

と綴られており、今後の学校生活や社会生活に役立つ実習となったようで、大変嬉しく思いました。今後就職等を考える際にも今回の経験がその一助になればと期待しております。



宮城県七ヶ宿町チッパー機ジョブトレーニング

6月7～11日の5日間、宮城県七ヶ宿町の方々が木質バイオマス事業におけるチッパー機のジョブトレーニングのため当組合を訪れました。

約一週間に渡る研修の中で原木の小割作業や機械の操作に従事していただき、大まかな作業の流れをご理解いただけたかと思えます。

実際に所有している機械と当組合で所有している機械の操作感の違いに戸惑うこともあったようですが、ケガや事故もなく無事に研修日程を終えることができました。

秋田県と宮城県で同じ東北地方ではあるものの、環境の違いによって当組合でのやり方とは異なる部分も出てくるかとは思いますが、今回の研修で培った技術を大いに発揮して、林業業界全体を盛り上げていただきたいと思いますと同時に、同じ事業を展開している同志と切磋琢磨することで当組合のさらなる発展に繋げ、他事業体に負けない組織にしていきたいと思っております。

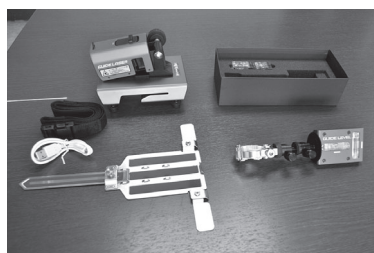


株式会社藤興業様より ガイドレーザー／ ガイドレベルを受贈

6月22日（火）、東由利に拠点を構える株式会社藤興業様より当組合へチェーンソー伐採における伐採補助装置「ガイドレーザー／ガイドレベル」を受贈いたしました。

この装置は、木の伐採作業での労働事故撲滅のため、労災の最も大きな要因となるかかり木をなくし、事故のない安全な労働環境の整備に貢献したいという同社代表取締役佐藤勝氏の発案の元に開発されたもので、伐倒方向をレーザーで可視化し、受け口を正確に作成できるようになり、前述の通り木を未然に防ぐことが可能になります。

近年では機械化が進み、大型の重機を用いて伐採作業を行うことも多くなりましたが、重機の入る場所が確保できない現場では未だにチェーンソーでの伐採は欠かすことのできない作業です。技能職員が長年培ってきた勘も大事な感覚だとは思いますが、この装置を活用することで、経験の浅い職員でも勘に頼らず同じように安全な作業を行えるようになるはずですので、こういった最新技術を積極的に取り入れて、より良い労働環境を作っていきたいと思えます。



木材市況情報 (令和3年)

単位：円、上段（石当り価格）
下段 m 当り 価格

樹種	材長 m	径級 cm	7月2日			8月3日		
			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	14下	(2,715) 9,774	(2,705) 9,739	(2,714) 9,773			
		16~22	(3,781) 13,612	(3,661) 13,183	(3,705) 13,340	(4,000) 14,402	(3,911) 14,083	(3,936) 14,173
		24~34	(3,900) 14,040	(3,834) 13,803	(3,850) 13,862	(4,200) 15,120	(3,996) 14,389	(4,128) 14,862
出材量・販売量・販売率			836m ³ (3,009石)・836m ³ (3,009石)・100%			457m ³ (1,645石)・402m ³ (1,447石)・87%		

7月：やや若齢の材の出品が多かったが強い引き合いで完売。量産工場、山形県勢が量をまとめた。16~22cmで13,000円を超え、24~34cmで13,800円といったところ。13cm下や曲材も居所は高く強含み。
8月：36cm上が2口応札がなかった他は強含みで完売。量産工場や地元勢、山形県勢に加え、県北からの参加もあり、応札枚数も多かった。もうしばらくはこの傾向は続きそうだが単価も高止まりの感もある。



6月21日に由利本荘市、同24日にかほ市の各教育委員会に鳥海山や本荘由利地域の植物を紹介した写真集「野・山・里の花 What's your name?」を寄贈いたしました。

この写真集は元中学校の理科教諭である由利本荘市西目町の河本正徳さんが40代から80代にかけて撮りためた植物の写真を掲載したもので、子どもたちの自然との関わりが少なくなっている昨今、気軽に触れられる本という形で情報を提供し、これをきっかけとして地元の自然に興味を持っていただければという考えから、当組合管内地域の小・中学校に寄贈することとなりました。

この取り組みによって我々のような森林林業にも関心を持っていただければ幸いです。

由利本荘市及びにかほ市教育委員会に本荘由利地域の植物写真集を寄贈！



鳥海山 木のおもちゃ美術館

開館3周年 木育おもちゃまつりに参加！



7月4日（日）、鳥海山木のおもちゃ美術館で開催された「開館3周年木育おもちゃまつり」に当組合も参加し、ウッドバーニングの無料体験を出展いたしました。当日は空模様があやしい中、家族連れのお客様が多数訪れ、作業に没頭していました。

見た目よりも難しく長時間の作業になるため、子どもたちは途中で飽きてしまい、引き継いだ親御さんの方が熱中する場面が多数見受けられました。

10月中旬に開催を予定している森林組合まつりでも同様のブースを出展いたしますので、ご興味を持たれた方は是非ご来場ください。

